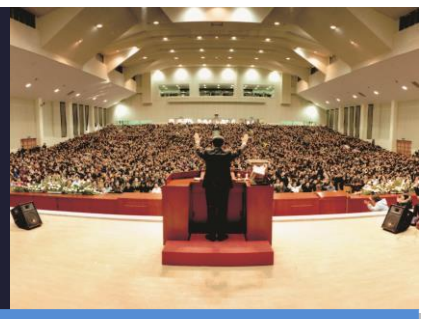
第 2018-06 号

恵みと真理のニュース



2018 年 2 月の二次　恵みと真理教会
韓国 京畿道 安養市 萬安区 安養路 193 / ☎82-31-443-3731 / www.gntc.net

［証］

地を造られた主、それを形造って堅く立たせられた主、その名を主と名のっておられる者がこう仰せられる、 わたしに呼び求めよ、そうすれば、わたしはあなたに答える。そしてあなたの知らない大きな隠されている事を、あなたに示す。

わたしは海の波の声が美しくて名をつけられた“パドリ”という田舎で高校まで通って村の一番高い所にある教会で信仰の根を下ろしました。2001年に結婚して恵みと真理教会に出席するようになってその時から当会長の牧師の説教に魅了され御言葉に充満な生活をしながら主を仕えています。按手執事である旦那は主日11礼拝の聖歌隊の指揮者として13年間奉仕していて私は首区域長で教会を仕えています。
親を早く失って貧しかった旦那と結婚して私は長い間、経済的な苦難を受けました。経済的には大変でしたが、私が職場生活をしなくて旦那を助けながら主の事だけ全力を尽くして私の夫婦は同じ旨にして共にしました。祈りと平日の全ての礼拝に参席して"神様！私が主の事に忠誠したら神様は天国の神霊な福と地の豊かな福もくださることを信じます。”と祈りました。
時間が経ってもなかなか状況が良くならなくて"主の事をこのように長く頑張っているのになぜ神様が福をくださらないのか？と思う時もたまにいました。神様の時と私が考える時と違うと説教を思い出して“神様が福をくださいますが私達の器がまだ小さくて福を与えて下さらないのか？もっと熱心に信仰生活をしながら大きい信仰の器を準備しようと旦那と私はお互いに慰めて励ましました。すると、2012年から小さい変化が始まりました。旦那がある日から"高速道路で出勤しながら見たパンギョ聖殿で平日と金曜礼拝の指揮者で奉仕したい心があるとしました。また、"神様が私達に福を与えるため奉仕を愛する心を与える感じだ“としました。その話を聞いて私も旦那と共に祈りました。驚いたのは一か月後、聖歌隊から連絡が来ました。金曜礼拝の聖歌隊の指揮者で奉仕を頼む要請でした。本当に奇異な事でした。旦那は嬉しい限りで感謝する心で献身しました。その後からもっと驚いた事が起きました。予想もしなかった経路を通して旦那の仕事が良くなりました。数年間神様に切に祈ったことが私が願う通り一つ一つ叶えられ始めました。あ！神様が働かれるとこのようになるのだと旦那と私は人間的に努力してもまったく動かなかった壁がまるで明るい太陽で霧が晴れるように消えました。
私達の夫婦はヨンイン聖殿とパンギョ聖殿を行き来して神様が下さる福を受ける器になるため熱心に忠誠しました。神様は私達の家庭に恵みと愛が溢れるように与えてくださいました。長い間安定された家を持つため祈りながら頑張りましたが、神様が いっぺんに二つの所も予備して下さり摂理してくださいました。毎年、年越し礼拝と新年祝福聖会の時、新しい目標と計画を持って神様に祈ったことが年末が近づいてきて当時の祈りノートを開いてみると驚くに一つ二つ成し遂げられのを確認することが出来ました。神様の 玄妙な摂理と御働きで感嘆ざるをえません。最近には旦那の毎月の所得では想像できない金額を目標を決めて私に祈りを頼みました。私は“えー　それは無理な欲ですよね！”1年間でも稼がられない金額なのに、、としました。しかし、旦那は当会長牧師は説教の中で"神様に祈らなかくてもよいほども小さいこともないし、欲望で求めるのではないのであれば祈られないほど大きいのもないと言われました。その時その御言葉を聴いて心が熱くなったとしました。
私の夫婦は初めて旦那の目標をした金額の二倍を新たな目標を決めて神様の助けを求めながら祈りました。旦那の取引先で計画した会社たちの商号リストを作成して写真を撮って携帯のメイン画面にしてよく祈りました。神様に捧げる喜びが日々大きくなるのを願いながら、神様にもっと捧げ与え分かち合う人生になるのを決心して祈りました。そのように一か月間祈りました。
結果が真に驚きました。携帯メイン画面にあったすべての会社が旦那とビジネスを進行するようになりました。それだけでなく旦那は会社を体表して有力な経済新聞の二つの所で写真と記事が載せられました。ビジョンと目標を持って神様の助けを求めながら祈ったら願って行った毎月の所得も成し遂げられました。
以前年越し礼拝に2017年の日に書かれた祈りのリストを開いて見たら私の夫婦はもう一度神様に感謝祈りを捧げました。すべての祈り課題が様々なかたちで成し遂げられました。今年、新年祝福聖会で当会長の牧師がくださった御言葉の本文であるテサロニケー5章16節から22節の御言葉が私達の今年の生活の座標の御言葉で思って中学校1年生の娘と小学校4年の息子とよりよりと集まって暗記して黙想しています。そして、同じく今年も2018年叶えたい目標と祈り課題を私の家の居間で貼っておきました。
いつもの義の冠を愛し、霊肉共に強められ真面目で忠誠して教会と聖徒を仕えるように祈ってくださる牧師に感謝します。"神様は私を一度も失望させた事もなく過ぎた歳月を振り返ってもすべの事が主の摂理である。という賛美が自然に出るこの夜、私の主、神様に心深いところから出る感謝と賛美を捧げます。ハレルヤ！

［信仰コラム］ 逆説的な真理

"わたしはキリストのためならば、弱さと、侮辱と、危機と、迫害と、行き詰まりとに甘んじよう。なぜなら、わたしが弱い時にこそ、わたしは強いからである。" （イザヤ 41:14～16、コリンと人への第二の手紙 12:9～10）

私達は一般的に勝つ者になるためには力と知恵をたくさん持たなければならないと考えます。強さの反対が弱さだと考えます。しかし、聖書にはこのような常識に矛盾して記録されています。勝利者になるためには屈服されなければならなく、強くなるためには弱くならなければならないとしました。このような逆接について調べてみます。
まず、屈服された人だけが誠な勝利者になり得るという聖書の教訓を調べてみます。
私達の戦いは血と肉に対することではなく、この世の暗みの主管者と天にいる悪の魂に対することです。そして艱難と試しに対することです。このような戦いから勝利するためにはまず、神様に屈服する経験をすべきです。私達が得る勝利は神様に屈服する体験の深さに比例します。このような真理を説明するに役に立つ人物の中でヤコブがいます。
ヤコブは 20 年間の他郷暮らしに終止符を押して家族と奴隷、獣の群れを率いて帰郷の道にのぼりました。故郷の家が遠くないヤボク川に至ったヤコブは兄エサウが 400 人を率いてきているという消息を聞いて恐れました。ヤコブは自分の知恵と方法を全部動員しました。残った手段は健康な二つの足だけでした。日が暮れて暗くなった時、誰かがヤコブを不意に抱きました。ヤコブは本当に驚きましたが、自分を抱いた方が神様の天使だということを知りました。彼は " 私に祝福してください " と求めました。ヤコブがしつこくしがみつくので天使がヤコブの尻を打つと尻の骨が脱臼されました。天使が " あなたはもはや名をヤコブと言わず、イスラエルと言いなさい。あなたが神と人とに、力を争って勝ったからです " としました。" あなたが神と人とに、力を争って勝ったからです " という御言葉は反語的な表現です。神様と争って勝つ者は天下のどこにもいません。彼が神様と争って勝ってのではなく、完全に敗北したのです。徹底に神様に屈服したのです。暗澹な夜が過ぎて日が昇りました。彼が不自由な足で前に進んだが、神様の能力が現れてエサウの心を変化させました。
神様が驚くべきな方法で勝利を経験するようにしてくださったのです。
次は、惰弱が強さになるという聖書の教訓を調べてみましょう。
人間は自分の不足と惰弱を知ることから信仰が始まります。人が自分の力に頼る以上、福音の恵みと能力の中で生きる幸福を味わうことができません。なので神様は自ら高めて自慢する人を艱難を通じて破られ自分の無能と惰弱な実情を悟らせてくださいます。聖徒達が自分の惰弱を常に認識するのがどうして権能のある生活をする条件なのかを説明してくれる手本の中に使徒パウロがいます。使徒パウロは福音を述べ伝える使役を遂行するにおいては自分の力と知恵で全てのことを処理していこうとする意志が強いでした。パウロは他人と比較して見る時、自分の力と知恵に頼る理由が多くありました。しかし、そのような条件はパウロが使役するに邪魔になり得ることです。パウロがこのようなことに頼って自信を持つと傲慢になり自慢して光栄を自分が取ってしまうでしょう。なので神様がパウロに刺すいばらを与えてパウロが自分の惰弱を常に悟り、神様の権能を慕って懇切に頼るようにしたのです。神様の能力を供給されるためにはまず、自分の不足と惰弱を知るべきです。実際にこれを悟らなければなりません。そのために神様はその人に苦難のいばらを与え、艱難の水と火を通過させることもあります。私達が価値や強度においてつまらない土の器のような存在だということを悟って神様に頼る時、極めて貴重なイエス様が私達の中におられて大きな能力を供給してくださいます。

「チョヨンモク牧師先生の信仰コラム‘緑の牧場、清い川’本の語り中」

生涯をまとめた記事（2）

恵みと真理教会 **チョヨンモク** 牧師

聖書には、あなたと私の生涯を何と要約することができなければならないのかを知るようにしてくれる人がたくさん登場します。これらの生涯をすべて見ると、私の生涯の要約をこのように形容することができれば、もっと望むことがないとしても良い文を見つけることができます。今日は**「ノア はすべて 神の 命じられたようにした」**と要約されている生涯について説明します

これらの生涯について模範となる代表的な人物が本文に記録されたノアです。創造主の神が命じられたとおり行うことが被造物である人間にはあまりにも当然のことです。しかし、人間の歴史は、神の命令に逆らったことで染めるの歴史です。その最初の事件がエデンの園で発生しました。神がアダムを連れてエデンの園に置いてそれを治め守られました そしてアダムに命令されるのを**「主なる 神はその 人に 命じて 言われた，あなたは 園のどの 木からでも 心のままに 取って 食べてよろしい．しかし 善悪を 知る 木からは 取って 食べてはならない． それを 取って 食べると， きっと 死ぬであろう 」（創世記 2：16,17）**しました。蛇の誘いを受けたアダムとエバは、神の命令に逆らって善悪を知る木の実を取って食べました。神の命令に逆らったアダムの犯罪にため罪が世に入り、罪によって死が入ってきたと、聖書に記録されています。**このようなわけで， ひとりの 人によって， 罪がこの 世にはいり，また 罪によって 死がはいってきたように，こうして， すべての 人が 罪を 犯したので，死が 全人類にはいりこんだのである（ローマ人への手紙 5:12）**こうしてアダムの子孫は神の言葉に耳をふさいで生きています
ノアの時代に至って罪が深刻で、神が世界を判断しようと意図されました。ノアが不信心な人々に向かって義を伝播したが、人々はこれを無視しました。神はノアに命じられました**「わたしは， すべての 人を 絶やそうと 決心した． 彼らは 地を暴虐で 滿たしたから， わたしは 彼らを 地とともに 滅ぼそう．あなたは，いとすぎの 木で 箱舟を 造り，箱舟の中にへやを 設け， アスファルト でそのうち そとを 塗りなさい．」**としました。そして箱舟を作る方法を言われました
「その 造り 方は 次のとおりである． すなわち 箱舟の 長さは 三百 キュビト，幅は 五十 キュビト ， 高さは 三十 キュビト とし，箱舟に 屋根を 造り， 上へ一 キュビト にそれを 仕上げ， また 箱舟の 戸口をその 横に 設けて， 一階と二階と 三階のある 箱舟を 造りなさい． 」 続いて言われて

「わたしは 地の 上に 洪水を 送って， 命の息のある 肉なるものを， みな 天の 下から滅ぼし 去る． 地にあるものは， みな 死に絶えるであろう．ただし， わたしはあなたと契約を 結ぼう． あなたは 子らと， 妻と，子らの 妻たちと 共に 箱舟にはいりなさい」としました。ノアは、神が自分に命じられたとおりに行いました

第一、ノアは箱舟の規模を、神が彼に命じられたとおりに行いました。

神が指示された 箱舟の規模は非常に大きかったです。長さが 136.8 メートル、幅が 22.8 メートル、高さが 13.68 メートルです。専門家の計算によれば、排水量が約 32,800 トンになるとします。有名な空母エンタープライズ号は、長さが 317m、排水量が 75,700 トンだが、この空母は戦闘機の滑走路があり、飛行機が飛んで降ります。これと比較すると、箱舟の規模がどのくらいの大きか推測することができます。だから作業も難しく、乾燥コストがすごく高いのです
ノアは、自分が所有して富を神の御言葉の通り生きるために使用しました。ノアは長い年月の間に彼の財産を箱舟を作るために注ぎ込みました。そのことが楽しくなかった場合も継続するのが困難になります。人々はノアにこう尋ねたのです。洪水から生き残るために船を作った場合、あなたの家族だけ入る規模で作ってもいいじゃないの？あなたは、富の価値も惜しまないのか「神様が私に命じられたとおり行います。」これがノアの一途な答えであろう。

第二に、ノアは箱舟の材料や形状を、神が彼に命じられたとおりに行いしました。

ノアは箱舟を自分の好みに合わせて、乾燥しようとしない。あるいは船の作る経験がある専門家の意見に従って作るしようとしていない。人々はノアにこう尋ねたのです。船の形をなぜもっとカッコよく変更しないか？材料をより多様に使用していないか？「神様が私に命じられたとおり行います。」これがノアの一途な答えであろう。ノアは箱舟の規模と構造や材料を自分の思いどおりに変更することをしていませんこれらのノアの態度は、人々が聖書について持つべき態度のモデルになります。聖書は、人の著作物ではありません。聖霊に感動された人たちが神から受けて言ったのです。人々が批評することができるものではありません。ところがあらゆる人々が聖書の御言葉を自分の思いのままに解釈して修正します。これらの人々は、聖書を神の言葉に思わないからです。イエス・キリストによるあがないの真理を聖書のどおり信じなければ、決して救われません

第三に、ノアは神が命じられたとおり行って不敬虔な人々へ義を伝播しました。

アダムの子孫は精神的な面で二つの部類に分けられました。人間中心主義者であり、不敬虔なカインの子孫と神中心主義であり、敬虔な生活をするセットの子孫です。人がますます盛んになり、この二つの部類の間に區別が崩れ始めました。敬虔なセットの子孫が世俗的なカインの子孫たちと婚姻をするので、急速に人間の世界は、神に背く人本主義的社会になっていきました。人々は、その心の中に神を置くのを嫌がるだけではなく、被造物を創造主のように偶像崇拝に突き進むました。人の罪が深刻で、その心の考えのすべての計画が常に悪ました。人々が腐敗して非道いました
世界の風潮がこうしたが、ノアは流されていない。聖書には「ノアは義人であり完全な人で彼は神と同行しました」と記録されています。義人であった言葉は、神の前に罪のない者という意味ではありません。アダムの子孫で義人は一りもありません。
ノアを正しいとしたのは、その当時の人々の罪と不正と非道に加担していなかったことを意味します。ノアはこの世界の風潮に全く流されず、敬虔な信仰を堅持しました。ペテロの第二の手紙 2 章 5 節では、ノアが不信心人々に義を伝播したとしました。**不信仰な 世界に 洪水をきたらせ， ただ， 義の 宣傳者 ノア たち八人の 者だけを 保護された．**人々に悔い改めを促す人です。しかし、ノアの言葉に耳を傾ける人は誰もいませんでした。それでもノアは神が命令されたままの不信心人々へ義を伝播しました

第四に、ノアは神が命じられたとおり行って箱舟に入りました。

創世記 7 章に記録されることを箱舟が完成した後に、神はノアに、次のように命じられました。**「主は ノア に 言われた， 「あなたと 家族とはみな 箱舟にはいりなさい． あなたがこの 時代の 人々の 中で， わたしの 前に 正しい 人であるとわたしは 認めたからである．あなたはすべての 清い もの の中から 雄と雌とを 七つずつ 取り， 清くない ものの 中から 雄と 雌とを 二つずつ 取り，また 空の鳥の 中から 雄と 雌とを 七つずつ 取って，その 種類が 全地のおもてに 生き 残るようにしなさい．七日の 後， わたしは 四十日四十夜， 地に 雨を 降らせて， わたしの 造ったすべての 生き 物を， 地のおもてからぬぐい 去ります 」**としました（**創世記** 7：1～4）その次に記録されることを「ノアは主が命じられた通りだ行いました ノアとその家族が箱舟に入って行ってもまだ雨が降らなかった。しかし、ノアとその家族はそのまま箱舟の中にとどまっていました。なぜなら、神が言われたのである、「今から七日には、私は四十昼夜を地に雨を降ろす。」とされたからです。「あなたとあなたの家は、箱舟の中に入りなさい。」と命令されたからです。いよいよ七日が過ぎました。「その日に大規模な深さの泉が炸裂され空の窓が開いて、四十昼夜を雨が地にあふれました」。40 日間雨が昼も夜もあふれています。 箱舟は水の上に浮かびました。しかし、全世界は、水に沈んで神の言葉を不信し逆らった者たちは、すべてが水に陥って死亡しました ノアは洪水を体験して見たことがなかったとしても、神の御言葉の通り、全世界が水に浸かる洪水が迫ってくるのを信じていた。ノアの従順は理解を超えたものです。人の経験と知識は、神がなさたことと将来行なうことを理解するには力不足です。神の意志と摂理を理解するためにも力不足です。 イザヤ書 55 章 8 節と 9 節では、**「わが 思いは， あなたがたの 思いとは 異なり，わが 道は， あなたがたの 道とは 異なっていると ／主は 言われる．天が 地よりも 高いように， わが 道は， あなたがたの 道よりも 高く，わが 思いは， あなたがたの 思いよりも 高い 」**としました。ノアの一念は、ただ神の命令のどおり行いました。「ノアがそのようにするが、神が命じられたとおりに行いました″創世記 6 章 22 節と 7 章 5 節に重ねて記録されています
「彼は神が命じられたとおりに行いながら生きています。「これがノアの生涯をまとめた言葉です。私たちの生涯の概要も同様になることを願いします。